

発行
令和元年10月
第 180 号
古高町自治会

高古報広

R1.10.1 現在(前月比)
世帯数 1,329(+4)
人口 3,498(+11)
男 1,719(+9)
女 1,779(+2)

「鼓踊り」 晩夏に舞う

鼓踊り保存会会長 今井 和雄

8月24日に古来より地域の伝統文化であります「古高の鼓踊り」を、平成23年・27年以来4年ぶりに大將軍神社に奉納させて頂きました。折しも秋雨前線の影響で天候が心配される中でしたが、当日は神仏のご加護のお陰で好天に恵まれ無事終了することができました。

守山市長様をはじめ、数多くの御来賓や町民の皆様、近隣各地から来訪の観客・愛好者や写真マニアの方々、新聞等の報道関係者の方など、多くの皆様に観覧して頂きました。これもひとえに町民・関係者の皆様方のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

本年の奉納は19の踊りがある中、その約1/3づつを前々回・前回と今回の3回に分け、一応今回が最終の奉納となりましたが、前2回同様、地域の伝統文化の保存継承に努め「子々孫々に伝えよう」をテーマに、町民の皆様呼び掛けて、本年4月より準備を進め、役付の太鼓・ごんべ役は、小・中・高校生4

人の参加協力を得る中、新規の役付者の育成が出来ました。また、小学生の踊り子さんも前回同様、子ども会の協力を得て男女10人の参加で、一層華やかさを増し、観客からも好評となりました。

一方、前回・前々回とは異なり、アトラクションは割愛することで、炎天下での時間短縮に努めました。また、着付け、まちづくり、赤十字奉仕団の役員の方々や、カメラ・ビデオ撮影者など、多くの皆様にもお世話になりました。こうして無事奉納が終えられました



ことに衷心より感謝し、お礼申し上げます。

しかしながら、少子高齢化、世相の変化による担い手の減少など、取り巻く環境は回を重ねるごとに厳しく困難なものとなり、これからの極めて大きな課題となっております。

今後も世代を超えて、「ふるさと古高」の風土と歴史を伝え・残し、更なる地域文化創成の糧と成らんことを標榜して、文化の香り高く豊かな伝統の息づくまちづくりと継承に努めていきたいものです。

第一回人権同和問題学習会

まちづくり推進員 人権教育副部長 佐伯 泰紀



7月13日(土)に古高自治会館にて今年度1回目の人権・同和問題学習会が行われました。当日は守山市人権教育啓発講師団の奥村信夫氏をお迎えし、郷土守山の歴史から子供の人権意識の現状まで広い分野にわたりお話を頂きました。当日は約70名の方が参加され、配布された資料に興味深く目を通されている姿が多くみられました。

学習会の中心的な内容は、現在の中高校生や青年の意識や生活実態をどう見るべきかという点で、実態調査に基づくデータやグラフ等を用いて現代の若者の人権に関する考え方や学習習慣、地域や社会にかかわる状況や、モバイルデバイスの所有・使用に伴う問題等が説明されました。

私自身は人権・同和に関する学習会の参加は初めてでしたが、人権問題に対しては地域・コミュニティが一体となって他人ごとではなく当事者意識をもって問題に向き合っていくことが大切であると感じました。今後もこのテーマに対して研鑽を深めて参ります。

河川愛護作業実施報告

地域環境担当副自治会長 鈴木 繁宏

去る7月14日(日)は守山市全域において各自治会ごとに河川愛護作業が実施されました。わが古高自治会でも、前日13日(土)、ニッケンレンタルヘダンプ4台を借用に行くところから前哨戦は始まりました。当日は天候が危ぶまれましたが、何とか午前中いっぱい持ちこたえました。心底から天佑神助だと思います。当日は朝8時に全28個班班長にご集合いただき、ビニール袋、エフを配布し、各持ち場に散開いただき、各班ごとに持ち場の草引き、ゴミ上げを行っていただきました。ありがとうございました。そして、4台のダンプの運転と添乗をお願いした班長には町内全域を4コースに分かれて草、樹木、土砂、ヘド口の回収、運搬に当たっていただきました。大変だったと思います。本当にありがとうございました。「久しぶりにマニュアル車を運転した」と笑って語ってくれた方もいらっしゃいました。運営上不備な点もあったと思いますが次回への改善課題とさせていただきます。各班の皆さま、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。



子ども会 VS 活動

子ども会 会長 松下 美華

7月22日月曜日、VS活動の予定でしたが、朝からあいにくの雨となり、次の日に変更になりました。

翌日の7月23日火曜日は、お天気に恵まれ猛暑の中、ラジオ体操が終わったあと、親と子の広場、みどり公園、しもなが公園、コモンシティ南林公園の4ヶ所に分かれ、草引きやゴミ拾いを行いました。

子ども達にケガや危険がない様に、ハチの巣などのチェックをし、VS活動を終了しました。

VS活動とは(ボランタリーサービス)「他のために今の自分にできることはないかを考え、自分でできることを進んで行う活動」の事です。

たくさん子ども達や保護者の方、地域の方々が参加してくださり、草引きやゴミ拾いをして頂いたおかげで、今年も気持ち良くラジオ体操をする事ができます。

御協力ありがとうございました。

交通安全啓発活動

まちづくり推進員 市民活動部会長 新野 勉

8月18日(日)に「交通安全啓発活動」を実施しました。市民活動部会の方、守山南中学校の生徒さんに参加していただき、前年度未補修の(南町・中町・石橋町・桜町・コモン1～4)を中心にペンキにて停止線の補修作業を行いました。

守山南中学校の生徒さん・市民活動部会の皆さんが、協力しながら停止線を引くことが出来ました。暑い中ケガや事故もなく約1時間半ほどで作業が終了しました。

古高町は、狭い路地が多く、また幹線道路は交通量も増えてきています。交差点では標識などを確認し一旦停止を心がけていただきたいと思います。

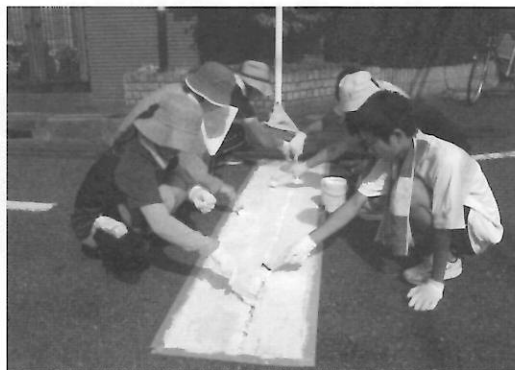
次年度「交通安全啓発活動」として「とまれ」の標識の補修作業を行う予定にしています。

今回で協力を頂いた皆様ありがとうございました。

VS 活動

守山南中学校 和泉 皇佑

僕は夏休み中に古高のVS活動に行きました。VS活動では、地域でハゲてきた白線の白をぬりなおしました。三グループに分かれて行きました。活動中はいろいろな人と話ができてとても楽しかったです。僕は自分の家の近くの白線をぬったので通るたびに思いだしています。自分のぬった線が人に使われているのを見ると、いいことをしたなと思います。なので来年もさんかしたいです。

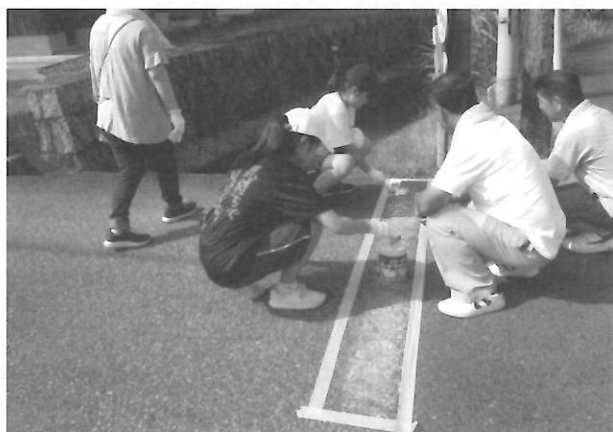


ペンキ塗りをして

守山南中学校 藤城 美琴

私は、8月18日(日)に古高の道路のペンキ塗りをしました。

当日は、役員の方と一緒に道路の消えかけている白い線を上からペンキで塗りました。はじめは塗った時にムラができて上手く塗れなかったのですが、何度も作業をしていくうちに上手にペンキを塗れるよう



になりました。その日は、とても暑かったのですが、一緒にいた友達や役員の方のおかげで楽しく過ごしました。

ペンキを塗ったところは、私も通学や学校の帰りに使う道なので、その道を通るたびに「しっかりここで止まらないとな。」と思います。この活動を機に自分の交通マナーを再確認することができたので、これからも安全に生活したいと思います。



吉川川 水辺の観察会を終えて

まちづくり推進員 小野 世津子
青少年育成部会長



8月3日(土)、大將軍神社前の吉川川で開催され、多くの小学生に参加して頂きました。観察会では、吉川川に住む魚や生物の観察、ニゴロブナの稚魚1,000匹の放流を行いました。子ども達は、暑さも忘れ川に入り、夢中になって魚やエビなどを捕まえて楽しみました。捕まえた生物を見ながら「生き物博士」である中島正一さんから、吉川川に住む水生生物のお話もして頂きました。その後は、

恒例となっていた「竹パン作り」を、子ども会からの要望もあり、暑い最中でもあるので、新たな試みとしかき氷にしました。ものづくり体験ではないですが、かき氷機で削った氷に、子ども達が各自で、好きな味のシロップをかけて、「冷た〜い!」「おいしい!」と楽しそうに喜んで食べている様子を見て、よかった…と安堵しました。

開催にあたり、暑い中、関係者の皆様にはご協力を賜わり、誠にありがとうございました。



水辺の観察会に参加して

守山南中学校一年 進藤 小春

私は今回、川には入りませんでした。しかし、途中、逃げた魚をつかまえてあげたり、魚がたくさんいるポイントを教えてあげたりしました。私は今まで竹パンを楽しみに参加していましたが、今回は、衛生面の関係でかき氷に変わっていました。私は、すいか味といちご味を食べました。とてもおいしかったです。ニゴロブナの放流では約千びきのニゴロブナを放流しながら、元気に育つことを願いました。自然について改めて考えるいい日になりました。また参加したいです。

水辺の観察会に参加して

守山南中学校一年 辻本 絢音

8月3日(土)に吉川川で水辺の観察会があり、友達と参加しました。そこでは、小学生が川に入って魚を捕り、ニゴロブナの稚魚を放流していました。私は川に入っている小学生の見守りや、ニゴロブナの稚魚の放流の手助けなどをしました。

その後、例年は竹パン作りでしたが、今年はかき氷を食べました。暑い日だったので、みんな美味しそうに食べていました。

この活動で、川にはたくさんの魚がいることを再確認し、自然を身近に感じることができました。中学生になって参加する機会が少なくなりましたが、久しぶりに地域の行事に参加することができて良かったです。

「吉川川・水辺の観察会」に参加して

子ども会 会長 松下 美華

8月3日(土) 吉川川水辺の観察会が開催され多くの子ども達に参加しました。

最初に水生生物についてのお話を聞かせて頂き、実際に川に入って水生生物を見つけたり、ヤゴやエビなどを暑さも忘れ、夢中で楽しく魚を探しました。その後、子ども達でニゴロブナの稚魚を吉川川に一斉放流しました。

最後に、毎年竹パン作り体験をしていただいていたのですが、年々ひどくなる猛暑のために熱中症の心配もあり、今年はかき氷になりました。子ども達は、大喜びでいろんな味の蜜を食べくらべて、あれもこれも美味しいと言いながら笑顔で夏をむかえられたと思います。

最後になりましたが、暑い中、関係者の皆様のご協力により楽しく過ごさせて頂きました事、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

「吉川川・水辺の観察会」に参加して

物部小学校6年 高田 恵吾

8月3日(土)に、水辺の観察会に参加しました。まず、あみを持って少し歩いていると、魚を見つけました。でも、つかまえようとしても、すばしっこくて、すぐににげてしまいました。つぎに、にごっている場所があったので、そこをあみであさってみると、たくさんのエビや、小さな魚がとれました。うれしかったです。その中に、卵をもっているエビがいたので、にがしてあげました。つぎに、つかまえた魚の説明を聞きました。すると、メダカだと思っていた小さな魚が、べつの魚だということがわかりました。また、びわ湖にはジャンボタニシという貝がいて、ふつうのタニシと比べて、何倍も大きかったので、びっくりしました。その後、かき氷を食べました。暑かったのでちょうど良かったです。

今回の水辺の観察会を通して、いろいろな魚と貝のことがわかりました。勉強になりました。

水辺の観察会に参加して

物部小学校6年 高田 陽翔

8月3日(土)に水辺の観察会がありました。水辺の観察会では、最初に川に入って魚をとり、その後、中島さんから吉川川の魚などについての話を聞きました。そして、ニゴロブナの稚魚を放流し、最後にかき氷を食べました。

ぼくが一番心に残ったことは、川に入って魚たちとふれあったことです。最初は、魚もエビも全然つかまえられなくてとても難しかったけど、と中からは、草のところにたくさん魚やエビがいることがわかりました。草のところにあみをさしこんでみると、魚はとれなかったけれど、エビがたくさんとれたのでうれしかったです。

水辺の観察会で中島さんの話を聞いて、きれいな川にしか生息できない生き物がいることが分かったので、川にゴミなどをすてず、きれいな川を守っていきたいと思いました。

夏休みも終わりにさしかかる8月17日、子ども会で恒例の地蔵盆を行いました。普段子ども達を見守ってくれているお地蔵様の前掛けも新調し、子ども達の健やかな成長を祈りました。

10時からは福寿院に福林寺の住職様をお迎えし、4・5・6年生がおつとめをしました。子ども達は住職様が本堂に入って来られると、静かに正座をして読経やお話を真剣な表情でききっていました。

おつとめ後、全学年約130名で公民館の1階と2階にわかれて好きな映画を鑑賞し、夏休みの良い思い出になりました。

町内の皆様方のご協力のおかげで、地蔵盆が盛大のうち無事終了することができましたことに感謝申し上げます。また、多くのお供えを頂きましたことにもお礼申し上げます。



地蔵盆

物部小学校 6年 中川 妃莉

私は、8月17日(土)の地蔵盆に今までは行ったり行かなかったりしていましたが、最高学年で最後だったので行きました。

まず始めに、住職さんから観音様の説明があり、たくさんの手でみんなの事を仏様が、見守って応えんしてくれている事を教えてもらいました。正座をすることは、ふだんはしないので、お経を聞いているのは足がしびれてしまい痛かったけれど、いつもは聞けない話を聞いたり体験できたりした事はとても良かったと思いました。

そして、その後「リメンバーミー」の映画を見ました。この映画も見たことがなかったので、とても楽しかったです。最後に家族全員が会えたシーンに感動しました。

来年からは、中学生になるのでもう地蔵盆には行けませんが、小学生での大切な思い出にしたいです。

最後の地蔵盆を終えて

物部小学校 6年 岸 あこ

私は8月17日(土)に地蔵盆に行きました。4・5年生では映画が見たくて参加していました。しかし今年は6年生なので正座してて痛かったけどお坊さんのお話を静かに聞き参加できました。お坊さんの話では、仕事や勉強、家族などの話がありその中で家族の事が心に残りました。なぜかといういつも家族が見守ってくれて大切にしてくれていると分かったからです。そして観音様はいつも安全を見守ってくれていると分かりさらにうれしかったです。その後は古高町公民館に行って「リメンバーミー」をみました。この話は、少年がミュージシャンになりたくて夢をおいかける話です。それに感動する話で、おもしろく楽しかったです。お坊さんが教えてくれた大切な事をわすれずに大きくなったら恩返しをしていきたいです。

古高町ふれあい運動会

運動会実行委員長 加藤 博信

10月13日(日) (予備日:14日)に予定していました第32回古高町ふれあい運動会については、台風19号の影響により、自治会住民の皆さんの安全と混乱を招かないことを最優先に考え、最終的に中止と致しました。

2年に1回、自治会住民のみなでふれあい、大いに盛り上がる機会を持てなかったことは大変残念であり、楽しみに考えておられた方、また、会の開催の準備に携わって頂いていた方々にはご迷惑をお掛け致しました。

運動会の参加人数が年々減少傾向にある中、市内の他の自治会によっては、すでに開催自体を取りやめておられるところもあります。しかし、古高町はこれまでの長年の歴史と伝統を重んじ、開催する方向で進めていた中での中止で、歴史が一旦途絶えてしまったことについては、残念でなりません。

今後、住民の皆さんのご意見をもとに、来年度以降の計画がされるかと存じますが、引き続きみなでふれあい、盛り上がる機会を持っていただくことを期待します。

敬老会

赤十字奉仕団 班長 永田 みゆき

9月16日(月)に自治会主催の敬老会が開催され男性30名、女性44名の方が出席されました。代表井上徳蔵様の挨拶、高田健治様の乾杯で始まり、皆様思いおもいにお酒を酌み交わしで馳走に舌鼓を打ち、話しに花を咲かせ、楽しい会食になりました。一年生の子ども達17名が大きな声で合唱、歌声に合わせて、つい手拍子が!微笑しい空気の中、会場には、55年前に耳にした東京五輪音頭が流れ、赤十字奉仕団員がハッピー姿で、鳴子をふり踊らせて頂きました。次に大道芸「笑顔の配達人」さんのこちよい話術に耳を傾け



サテリ、サテリ、サテ、サテの掛け声と共に南京玉すだれの見事な演技、皿回し、手話で「千の風になって」等多彩な妙技、そして全員で故郷、琵琶湖周航の歌を合唱、最後にお楽しみのビンゴで幕を閉じました。今年度は受付時に名前の札を手渡し履き物の中に入れて、履き間違いのないようにさせて頂きました。皆様のご協力のおかげで終える事が出来感謝致します。

古高俊太郎没後 155 年祭盛大に開催される

副自治会長 鈴木 繁宏

去る7月28日(日)、午前11時より町内福寿院境内にて古高俊太郎没後155年祭を執り行いました。古高俊太郎は古高町にゆかりの深い、主に京都で活動した幕末の勤王の志士で、古高自治会では古高俊太郎の遺徳を顕彰し、その記憶を後世に伝えていくことを目的に5年に一度、式典を開催しています。さて、その前日は台風6号の紀伊半島南方洋上通過に伴う雨天のため、前日準備は実施できず。やむなく高田千代次さんの軽四1台を農業倉庫内に格納し、テント4張を搭載したのみで



した。台風に伴う雨は日付の変る頃にはやみ、翌日は午前8時半前からご集合いただいた各班長により短時間のうちに会場設営および式典開催準備を完了していただきました。11時前頃から三々五々ご来賓方がご着到され、正11時より町内専光寺ご住職伊原お導師と市内木浜の福林寺、高木ご住職の読経の中、参拝者全員によるご焼香の後、古高俊太郎先生遺徳顕彰会高田正司会長挨拶、宮本和宏守山市長様のご祝辞、遺族代表謝辞と続き、本年は古高俊太郎の師でもあった勤王の志士梅田雲浜の玄孫に当られる元大阪芸術大学教授の梅田昌彦氏のご参加もあり、特別来賓挨拶をいただきました。次いで守山市教育長田代様による記念講話、元古高自治会長で北年寄代表の高田健治さんによる献吟で締めくくっていただきました。特に高田健治さんの献吟では、古高俊太郎と梅田雲浜との事績にもふれていただき、特別来賓の梅田氏にもたいへん感銘深いことであつたと推察されました。式典開催に向けた準備、運営、撤収の任に当たっていただきましたすべての皆さまに厚く御礼申し上げます。

行事予定 [10月～1月]



10月	10月6日(日)	秋の花苗配布	11月	11月17日(日)	ごみのない美しい街づくり
	10月27日(日)	古高町自主防災総合訓練		11月23日(土)	大將軍神社秋の例祭
11月	11月2日(土)	第2回すこやかミニサロン	12月	12月31日(火)	大晦日の集い
	11月9日(土)	ごみのない美しい街づくり	1月	1月1日(水)	元旦祭

◆ 住居入り (敬称略)



8月	鈴木 良太 (中東)	10月	吉田 篤司 (釘貫)
8月	寺岡 修平 (釘貫)	10月	寺田 充志 (釘貫)
9月	瀬戸山富和 (釘貫)		

編集後記

この夏、頼まれてはじめて鼓踊りの輪に加わってみました。これまでも「鈴木さんも踊んなはれ」とお誘いをいただいたことはありましたが、聞き流してきました。それは、古高の鼓踊りが、滋賀県選択無形民俗文化財というまさに保存伝承していこうという貴重な文化財であり、往時の雨乞いという時代背景をあわせ考えると決して生半可な気持ちで入ってはいけなくと考えてきたからです。ところが今回は人手が足りない、三役なんだから頼む、と言われてはお断りもできず参加してみることにした次第です。ところが、やってみると出席した練習回数も本意で全くうまく踊れませんでした。むしろ、子ども会から参加してくれていた子どもたちの方がよほど綺麗に踊っていたことがとても印象的でした。

鈴木 繁宏

編集委員 広報担当班長 小井 毅浩(中西) 村木 美都子(住宅南) 鈴木 繁宏(自治会副会長)